

論文投稿規程

1. 投稿者の資格：投稿者は共著者もふくめ原則として公益社団法人日本母性衛生学会会員に限る。
2. 論文の種別：論文の種別は、原著、研究報告、速報、事例報告、依頼稿、特集などで、母性衛生の向上に寄与しうるもので、他誌に発表していないものに限る。
 - 1) 原著：科学論文として論理的で独創的な新知見が示されており、母性衛生としての学術上の価値があると認められた論文。
 - 2) 研究報告：原著論文の条件は満たさないが、研究成果をまとめたもので掲載の意義があると認められた論文。
 - 3) 速報：新しい研究方法の開発、将来発展する価値のある新知見を早急に報告する論文。
 - 4) 事例報告：稀な事例で今後の実践に有益な論文。
 - 5) 依頼稿：会員に役立つもので、依頼した論文を原則とする。
 - 6) 特集：特定のテーマに関する複数の専門家に依頼した原稿を原則とする。

3. 研究倫理

ヒトを対象とした研究は、世界医師総会（World Medical Assembly）において承認された、ヘルシンキ宣言（1964年承認、2013年修正）の精神に準拠し、文部科学省、厚生労働省及び経済産業省から告示されている、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」等、最新のものを遵守して行われたもので、倫理委員会の審査を受け「承認」されたものでなければならない。

4. 利益相反に関する事項の開示

共著者を含めた全著者は、投稿論文の内容に関し「利益相反に関する規程」に基づき、当該論文の利益相反に関する事項について申告書（様式2-1、様式2-2）を用いてその状況を開示しなければならない。なお、引用文献の前に「本論文内容に関連する利益相反事項はない。」又は「著者○○○○は△△△△との間に本論文内容に関連する利益相反を有する。」と記載する。

5. 投稿方法

論文の投稿はオンライン投稿システム「Scholar One Manuscripts™」により下記のものをアップロードする。

- ① カバーレター
- ② 本文（別に定める原稿執筆要領に従って作成する）
- ③ 利益相反自己申告書
- ④ 倫理審査通知書
- ⑤ 著者リスト

6. 投稿論文の受付日と受理日および採否

- 1) 投稿論文の受付日は、オンライン投稿システムに全てのデータがそろい事務局で確認された日とする。
- 2) 投稿論文の受理日は編集委員会で、論文が採択された日とする。
- 3) 投稿論文の採否は査読を経て編集委員会が決定する。
- 4) 編集委員会の判定により、原稿の修正および原稿の種類の変更を著者に求めることがある。
- 5) 論文受理後は、最終原稿並びに著者すべてが自筆署名した著作権譲渡同意書の PDF ファイルをオンライン投稿システム上にアップロードする。

7. 著者校正

本誌に掲載するための校正は著者が行う。ただし、編集委員会が求める加筆・修正以外は原則として認めない。著者による大幅な加筆・修正があるときは再査読を要するものとする。

8. 論文の掲載料

オンラインジャーナル掲載時、タイトル・所属・著者名・本文・英文抄録すべて含み、8 頁までは無料とする。

これを超えるものは、1 頁につき 17,000 円（税別）の掲載料を請求する。

尚、カラーによる掲載は別途請求する。

9. 論文の別刷

別刷を希望する場合の費用は投稿者の負担とする。部数は最低 30 部とする。

10. 著作権

本誌に掲載した論文の著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条の権利を含む）はすべて公益社団法人日本母性衛生学会に帰属する。

11. 投稿における不正行為

投稿者は、日本母性衛生学会誌「母性衛生」論文投稿に関する不正行為防止のためのガイドライン(※)を遵守し、不正行為を行ってはならない。（※HP に掲載）

投稿における不正行為が明らかになった場合には、筆頭著者及び共著者は 3 年間本学会誌への投稿は受理しない。また、投稿、掲載された論文は判明した時点で削除、却下する。

〒103-0004 東京都中央区日本橋 1-3-3 TYD ビル 6F
公益社団法人日本母性衛生学会「母性衛生」編集委員会

附則 この規程は、2019 年 1 月 7 日から施行する。

この規程は、2021 年 6 月 23 日一部改正

この規程は、2021 年 7 月 20 日一部改正

この規程は、2022 年 2 月 22 日一部改正